

2016年5月20日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

【開催報告】

世界最大の B to B 向け産業技術の専門展示会 HANNOVER MESSE

～2016年4月25日（月）～29日（金）、ドイツ・ハノーバー～

過去最高の来場者 19 万人を記録。パートナーカントリー・米国からオバマ大統領も来場！



最新の産業技術・製品が一堂に会する世界最大の B to B 専門展示会「HANNOVER MESSE（ハノーバーメッセ）」は、2016年4月25日（月）～29日（金）まで、ドイツ・ハノーバーで開催されました。

世界 100 カ国・地域から 5,000 社が出展し、偶数年開催（※）としては過去最高となる 19 万人以上の来場者を迎えました（前回の 2014 年は、17 万 5 千人の来場者）。前回（2014 年）の約 25% 増となる 5 万人以上がドイツ国外から訪れ、アメリカからの来場者 5 千人と中国からの来場者 6 千人は過去最高となりました。特に、中国からの来場者は、主催国ドイツに次ぐ来場者数を記録しています。この他、ドイツを除く欧州からの来場者は合計 3 万人。日本からは約 1,000 人が来場しました。

【開催速報】（※速報値）

名称：HANNOVER MESSE（ハノーバーメッセ）
会期：2016年4月25日（月）～29日（金）
会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場
出展企業数：100カ国・地域から5,000社
（前回：100カ国・地域から4,790社）
日本企業数：58社（海外現地法人含む）
（前回：23社—海外現地法人含む）
来場者数：100カ国・地域から約19万人
（前回：93カ国・地域から約17万5千人）
日本からの来場者数：約1,000人
（前回：約300人）



※HANNOVER MESSE は、偶数年と奇数年で出展分野・規模が異なるためデータの比較対象を前回の偶数年開催である 2014 年としています。「Surface Technology」「Wind」「Motion, Drive & Automation」「ComVac（真空技術）」の 4 分野は奇数年のみ開催です。

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部

担当：竹生（たけお）、高間（たかま）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

注目の企画：

- ・日本から、パナソニック、三菱電機、コニカミノルタなど 58 社が出展
- ・オバマ大統領も来場！ ドイツ、アメリカの親密なパートナーシップでインダストリー4.0を推進
- ・インダストリー4.0を実際に体験できる場として、来場者の高い関心
- ・今後も展示エリアの拡大が予想されるエネルギー関連
- ・インダストリー4.0が、工業製品供給業者の一般的なニーズに

■日本から、パナソニック、三菱電機、コニカミノルタなど58社が出展

日本企業の出展は58社でした（海外現地法人含む）。

インダストリー4.0に特化したシステムから、高い技術力を有している、またユニークな要素的部品・部材まで幅広い製品が出展されました。

（ご参考：出展者アンケートより）

- ・ヨーロッパから4件、行政1件、アメリカから2件と、ターゲット層とコンタクトができ、目的を達成できた。
- ・具体的な購入交渉、共同研究の打合せができ、非常に有意義な展示となった。
- ・数多くの顧客とコンタクトができた。
- ・目的であった自社製品の販売促進と、欧州マーケットへの周知ができたと感じた。
- ・コンタクトできた新規商談のうち、大変面白い案件を得られた。



NC ネットワーク社のブース。QCD の高さを訴求した装飾が印象的

<日本からの出展（五十音順）> ※海外現地法人含

iCAD、愛知時計電機、明石合銅、石川県庁、稲畑産業、インデックスライツ、WELCON、NC ネットワーク、欧州日産自動車会社、大阪狭山市、オムロン、川崎重工業、キッツマイクロフィルター、キメラ、コニカミノルタ、小林製作所、コマツ産機、サクラテック、ジェイアンドシー、ジャパンマグネット、シーメット、Zippel(スギノマシン)、シンキー、SCREEN ファインテックソリューションズ、住友重機械工業、双日、タイカ、タイムック、高石工業、田村製作所、CHAdEMO 協議会、THK、TDK、テクノ高槻、寺崎電気産業、東海アヅミテクノ、東西サムテル、トックベアリング、日東化成工業、日本コントロールシステム、日本電気、日本航空電子工業、パナソニック マーケティングヨーロッパ、福井大学、フジクラ、富士通テクノロジー・ソリューションズ、マツバラ金網、三菱電機、ミヤキ、明電舎、安川電機、横河電機、Ryosho Europe、菱電商事、ルネサスエレクトロニクス、ロジックペイン、ロボテックス、ローム

■オバマ大統領も来場！ ドイツ、アメリカの親密なパートナーシップでインダストリー4.0を推進

オープニングセレモニーに出席した、ハノーバーメッセ公式パートナーカントリー・アメリカのオバマ大統領が、ドイツのメルケル首相と一緒に会場視察した中での一コマ。バーチャルリアリティメガネを装着したメルケル首相が、デジタル空間に手を伸ばすと、オバマ大統領がそれに実際の握手で応じました。これはインダストリー4.0を推進するドイツ、アメリカ両国の親密なパートナーシップを示したもので、ハノーバーメッセ2016のもっとも印象



的なワンシーンとなりました。

世界中の製品、機械装置、製造業企業、人々をつなげるためには、普遍的に適用可能な技術と基準に到達する必要があります。ハノーバーメッセ2016において、ドイツとアメリカがこれを可能にする議論に火を点けたと言えます。

■インダストリー4.0を実際に体験できる場として、来場者の高い関心

他の展示会を見ても、ハノーバーメッセほどスマートテクノロジーの製造業界での実装例を取り上げた例はなく、インダストリー4.0を実際に体験できる場となっていたため、会場はインダストリー4.0のゴールを追い求める来場者の熱気に満ちていました。展示されたソリューションは多岐にわたり、個別の装置に新しい部品を組み直すといったものから、クラウドでのデータ取得と分析を行うことで、製造ライン全体の統合を完成させるといったものまで様々でした。今回はインダストリー4.0にとってのブレイクスルーで、実際の工場へ展開する商業化を行うための第一歩となりました。

■今後も展示エリアの拡大が予想される

エネルギー関連

ハノーバーメッセ2016の基本テーマのひとつに「エネルギーの統合ー未来のエネルギーシステム」が掲げられました。エネルギー産業における完全なサプライチェーン(生産、供給、貯蔵から代替移動ソリューションまで)を取り上げ、独自の完全再生エネルギーサーキットの双方向モデルを紹介する特別展示「統合エネルギープラザ」が中心に据えられました。ハノーバーメッセは、エネルギーシステムの全体像を示す世界で唯一の国際見本市でもあり、エネルギー関連の展示エリアは今後も拡大することが予想されます。



■インダストリー4.0が、工業製品供給業者の一般的なニーズに

ハノーバーメッセ2016は、工業製品供給業者にとって、インダストリー4.0が一般的なニーズになりつつあることを裏づけました。新素材や軽量設計なども基本テーマとなっており、幅広いデザインのアイデアや、軽量設計のためのプラスチック、複合材料、あるいは金属部品に関心が寄せられていました。

また、ハノーバーメッセで初の展示となった「新興技術企業」では、ITとは別に、この業界での新規起業家への大きなインセンティブも用意されました。この展示エリアでは、若い起業家たちが潜在的な投資家、顧客、パートナーと新たな関係を築く機会を提供しました。

■次回 HANNOVER MESSE 2017 (ハノーバーメッセ 2017)

会期：2017年4月24日～28日

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

パートナーカントリー：ポーランド

以上